

放課後等デイサービス 大代自己評価表

環境・体制整備	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	80%		20%	基準の約2倍のスペースを確保し、遮蔽物がなく児童が安全に過ごせるよう配慮しています
職員の配置数は適切であるか	20%	20%	60%	常時6名(保育士1名、理学療法士1名、無資格1名、児童指導員2名、管理者1名)スタッフを配置しております
事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%		施設はワンフロアで段差はなく、トイレに入るまでに緩やかな階段がございますが手すりが付き登りやすくなっております。

業務改善	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに)広く職員が参画しているか	60%	40%		児童の様子について目標に沿って、職員全員で振り返り、より良いものになるよう毎日話をし合いを行っております。
保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%		今後も保護者アンケートを実施し、運営会議のもと直ぐに改善・実行できるものから取り組んでいきます。
この自己評価の結果を事業所の会報ホームページ等で公開しているか	100%			今後も定期的にホームページにて公開していきます
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40%	20%	20%	今後の課題と致します
職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	80%	20%		毎月全職員に対しての研修や専門職に分かれての療育のスキルアップ研修実施しております。今後は外部の研修等へも参加できるよう努めていきます

適切な支援の提供	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			定期的に保護者との面談の機会を作り、子どもや保護者からのニーズや課題に合わせ作成しております
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			アセスメントシートを標準化して使用しております
活動プログラムの立案をチームで	60%	20%	20%	全職員による会議で、個別プログラムと

行っているか				集団プログラムを作成し実施しております
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%		月間の予定表を作成し、イベントやレクリエーションが固定化されないよう行っております。また、児童の近況や環境に合わせて適宜変更しながらプログラムを組んでいます。
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	40%	40%	20%	児童の目標に合わせて個別に課題を行ってもらう事や学校の宿題に集中して取り組む時間を設けております。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			個別課題と集団活動の課題の両方の視点から個別支援計画を作成し、それを職員間で共有しております
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	40%	60%		活動前にミーティングを行い、活動内容、個別の対応必要性がある子どもへの担当決め、活動中の留意点について確認しています
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	20%	80%		支援終了後にミーティングの時間を設けその日の振り返り、気づいた点等を日々話し合っております。
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	80%	20%		タブレット端末を使用し支援の記録を行い、職員間で内容を共有し、検証、改善に努めております
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			6か月に1回は必ず計画の見直しを行っております。また必要に応じて、細かい計画の変更も行うようにしております
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせながら支援を行っているか	80%	20%		従業員の入社の際の研修や、毎月の研修等でガイドラインの理解、基本活動について理解を深め、支援しております

関係機関や保護者との連携	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
障害者相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参加しているか	80%	20%		児童発達支援管理責任者と、必要に応じて療育現場で最も関係ができていない指導員が同行し、会議に参加しております
学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切	80%	20%		学校の行事、下校時刻等は保護者から情報をまた、保護者の同意を得られた子どもに関しては、事業所での活動や様子、目標について文書で担任の先生にお渡しし、支援内容課題、取り

に行っているか				組み方を共有しております
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				受け入れた事がないので無回答とさせていただきます
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60%	40%		必要に応じて電話や直接話をする機会を持ちながら、就学前の情報機関との情報共有を行っておりますが、そうでない場合もあり不十分な所もあるかと思います。
学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			保護者と移行する事業所と3者で面談を行い必要な情報の引継ぎを行っております。
児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	40%		今後はセンターで開催されている研修会へ積極的に参加し、助言を受ける機会を作っていきます

放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%	今後そういった機会を作りたいと思います
(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		20%	80%	今後はより積極的に参加していきたいと思います
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			事業所内での活動や様子などを連絡帳に記載し、必要に応じて送迎時にも伝えております
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	40%	40%	20%	電話による相談対応、個別面談にて行っておりますが、必要に応じてなので十分かどうか判断しかねます

保護者への説明責任等	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			利用を始める前に、重要事項説明書や契約書の説明を通して運営規定、支援の内容、利用者負担等について伝えていきます
保護者から子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			相談を受けた際は、必要な助言や可能な範囲で支援行っております。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	今後検討していきます
子どもや保護者からの苦情について				担当責任者を設置し対応しております

て、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40%	60%		
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	20%	40%	20%	季節ごとに年4回児童の様子や活動内容について記事にてお渡ししております。 また翌月の行事や活動内容についての予定も合わせてお渡ししております
個人情報に十分に注意しているか	80%	20%		個人情報や個別ファイル等は施錠した保管庫にて管理し、取り扱いには十分に注意しております
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%		特性把握に努めて配慮するよう心掛けています
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	20%		80%	今後検討していきます

非常時等の対応	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			各マニュアルを策定しております。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			避難訓練は年2回実施し、緊急時に備えた備蓄も準備してあります。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%		管理者が外部の研修等へ参加し、それを全職員と共有し、虐待防止を徹底しております
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%		身体拘束は行わないよう職員の配置等を行っておりますが、今後万が一行わなければならないことがあった場合は、子どもや保護者へ事前に十分に説明し、了承を得た上で行うよう努めます
食物アレルギーのある子どもについて、意思の指示書に基づく対応がされているか	80%	20%		保護者からの聞き取りによる内容を職員に周知し、それぞれ個別に対応しておりますが、今後は医師の指示書に基づくよう取り組んでいきます。
レジャーハラスメント事例集を作成して事				日々の活動の中での気づいた危険や事故に繋が

ヒヤックハット事例をIF成しし 業所内で共有しているか	80%	20%	るような可能性のあるものを記録しファイリン グし、研修会にて協議しています
--------------------------------	-----	-----	--